

機能評価係数Ⅱの重み付けについて

1. 背景

- 機能評価係数Ⅱの重み付けについては、平成30年度改定に向けた検討の中間報告において、「現行のⅠ群・Ⅱ群については、医療機関群ごとに、求められる機能や評価の現状を踏まえ、各項目への配分についての重み付けの是非について引き続き検討する」こととしており、「多様な機能や特性を有するⅢ群については、重み付けを行わない」こととしている。
- 中間報告を踏まえ、関連する論点を整理し、平成30年度改定における具体的な対応を検討する。

2. 基本的な考え方

- 機能評価係数Ⅱの各係数の項目間での軽重は、医療機関群に求められる機能や目指すべき方向性等に基づき決定されるべきものと考えられる。このため、Ⅰ群、Ⅱ群において重み付けを検討する場合にそれぞれの医療機関群に求められる機能等と重み付けを行う係数の組み合わせについて検討する必要があると考えられる。
- また、係数に重み付けをするにあたっては、①当該医療機関群の特徴からみて、その特徴をより強化する視点、②一定の機能を前提としてその他の機能への取組を促す視点、といった2つの視点が考えられる。
- さらに、機能評価係数Ⅱの個別の係数の中には、地域の事情等の外部要因に影響される要素がより強い係数があり、その係数に重み付けすることは、各病院の取組みの範囲を超えた評価となる恐れがある。

3. 対応方針（案）

- Ⅰ群・Ⅱ群の機能評価係数Ⅱの重み付けについて、前述の2. に示した基本的な考え方の観点を踏まえながら、それぞれの医療機関群と重み付けを行う係数の組み合わせについて、機能評価係数Ⅱにおける具体的な評価の現状を踏まえて検討してはどうか。
- 具体的には、効率性係数、複雑性係数、カバー率係数の3つの係数を検討対象に検討してはどうか。